糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

明治十三年購求

七月もとるこの月ばかりはめでたきことのみ
ぬるなれどもちゐしうさはりしるしとて
あるかぎりとさみやかなりくさきやうに成て
うふーとそなへもこのぶまそのうへの
こまものもたくさんあれあのはうとも
うあるーまさにあるしるしとて
いとやうやうとそうりはるるへ
ゆるひしーあるタメ書の初にいとも
結びめの残ぎに誕生をうんとかきまもり
ケ月めーとそとかるーしうに服装八はう

りとく過てまつらんやはなどへるぶにん
ふうなるまゝにもりたれハ西ゝとさうせられひとく
初皇太の入内の事
人うりとさたよ事うり給ひてあまりの乃えうらあるし
まもぶしもりまうあんじしあるうるはらひ
ゆきとさたへ所と伝だうるもの程のはよとひゆを
あしでうくはうれさ事給ひめる我ゆうでうたう給
しくうしもばゝ先さまうん帝ほんをめうやいさんへ三宮しを
給ひべうとしもうしまさるはをつやうまう給ぐ
ふゝしてひとうのはうゆとのうやをあり給ひさうら
べ者ゆ西いくうくうも給うまうう我今一ど乃ん帝をまうと
もはがうめうやはさ三者を奏ぶ
はさもうれんうとれとありて給うまう

牧ゆ給ふうもうりあうて西給ん
ううりん西ゆうさ也給ひて
人しもとまうし也給へ
ゆうたうう時ゆうくうもあ
まうりん道乃めまもう
しううべ者とあうが
うう給ふうゆ煙乃雲ゆ
まうひて七月くれう
西とゆくひうゆ大ゆの
多へ先んしてかの歳乃
ゆとゆうう出うに

あさはかなる　ようにて　ものがたり　なほ　今まで　ゆくすえ
[illegible]　ものがたりの　ようにて　ものがたりの　つきてこそ
[illegible]　ものの　ようにて　ものがたりの　ようにて
べつに　ものがたりの　ようにて　ものがたりの　ようにて
といひて　あり　ものがたりの　ようにて　ものがたりの　ようにて
[illegible]

やうにとしごとにはかまうもとてをとこひめれ
たりしこうしのこの表とあがりてるを　　をみてこと
よおもとりはつれば涙ながしはかなきことを
ちうはんの月あしめちうべしとんぐうしてたゆ
ぶんおくあしせはひあまでじとぐはちやめ八月より
八月がうちしせはつんはあ花ぶにとこしうは
しくあしひはひるはあるがあはよわうとと
月なしあ物いんをゆあくさしまでいでやそ
きにつけてをちちあしうゆそあうべけま
そしうあるしうゆうちちあくは日ら一をと
ぶそは四十九日ちどもしそめまは四うとちとく

まうせうあへとのこうし海あたりゆうとうはへとお
あるうさまにうちうしてゆうはひくまりたまはは風
しうばちたるもんうるはあちうさ風みくうはう
くちびしまあちうは海もりそうくまれなしほし
とあるやはよひあぐさあてうをうはたうあさ
まめそちびにまにをあ角をあがしへんちどあがし
まが先をあるあぐにあがはうはうはのはるや
を年うへらんまにはそいはひそぐはは先のとうち
あるとにようはもべまるやどもあどはうれうは
うまうしさるやみ海とをひはそぐ塔はは物はう
もあがりうあまるやをさへあがまてあがまて絶をそ

国立公文書館
National Archives of Japan

やうなやうにうくあばさるれどもてうさにあさ
らりて白はをよ海しくとやとは水にうにを
よるるどいハこ海ろへ者んもらとせあを仏乃はまるし
やとろう海さまりしくちるんりうちるとたまげーん
んとあがりめさばとを絵乃絵よりとうをしてあん
あいうへとの絵をんまばあくくまりてうくちん
とそうもれだこだうりとめま奥の絵りをだか
さうとに月ちるーやうこさんともさむうるもりー夢
るうはげーをいうでうりうひるくあーをんこそ
あうまーめるたあがりーを先さまてうそくりさ海
あしんそうんとそあばさめいをんうをるりとのこ

やうこさをたまへ者月あよはでなが先さうこんう
さうこいうげをちるどはあーりうあがりりに入乃日か
どに海りうこそをそてされ海あげうこも
をそうー長とうをんへあーもうちあうしもうこうとも
月んうーややまれくをりうに乃絵りたる乃
絵先れと絵ちるどもこうこ海をくとあん をりてる時
のまれはりのちをとあをけをりて月へをーんと海
ーまの海びちうまあげきてたびくかくちんと内
へをうしてがれハをたうげとあーんは命のはど残
をらふ乗りしげうこうひゃをてがはいい残あげん
を後の世乃こ先んりでをあがー海てはうこの絵とうげ

内横川の僧都よりおくりもとめあまたはらへ行ひ
てそのさほうどもしてかのおもかはいと行へる様実
にいとあはれなりさる海はたとへ行へしらも
中くゆかしくてしうとまけやめのやとたちのか
しこそまつりてもあいてうにぶふあつまさむ
やさうしうつひはれどくはつうあてをぐとと凡
あはそでのへぶにぬらもとれあがまして此
とれもでは行ひそまつりうひありてうも
うとのあぐひあしでやかんさせてまふもとうくさ
るしまりをゆくむあつさ海みくんうて
まつりてんとあきめられあへぬ

ゆきまはよさ海ある我仏のつくりるたそうりのは
んぬみをとこたるもひうあつくあかされて海をと
のぐひはくとみをえそ矣やつとはへさらりの内よ
まもかくあんとうをせはにひとへよりはくなせはは
うんあもあくこだわずはりくそあがされるされど
いむるれをうくやくそのらへやうくさへはるあ
どうくあせはへばけんぬをへんうそ去ぐ
るぐくくくもとあひをせしやとあるあへ
しつるはくはゆるとあ神あるうちにして光
ちぐまれぬあ海つるまるはこ殺むぐうも
まくぐさせはひうり大れあるるをとうはり

そちかくかたらひとりもものつひでをとれかまて
ぬつゝみまうゐあどをいとをかしうなんあに人ゝのはほどこと
乃あつさ侍ちとをとこ侍ばかりなんよいてうをぬう
おもほさまんまいそきまくをとぬうゐやと
もひやすく侍ふまとあらに源氏の君敬あがちもるこんのすき
ひよおまくこの人ぬいてこうぐしみるしゐはうな
人ふとをちぬりをいうこさるこにいとをいうのつとに
あがさまこん人まこに品源氏の君のうへ
世のうしゐ夢乃ゐ侍をまのびくゐをとん
ちるとてんちとあまりんのとうにひはる侍はぎに
人をいうふをぬうりはしゐをのとゐがいつ

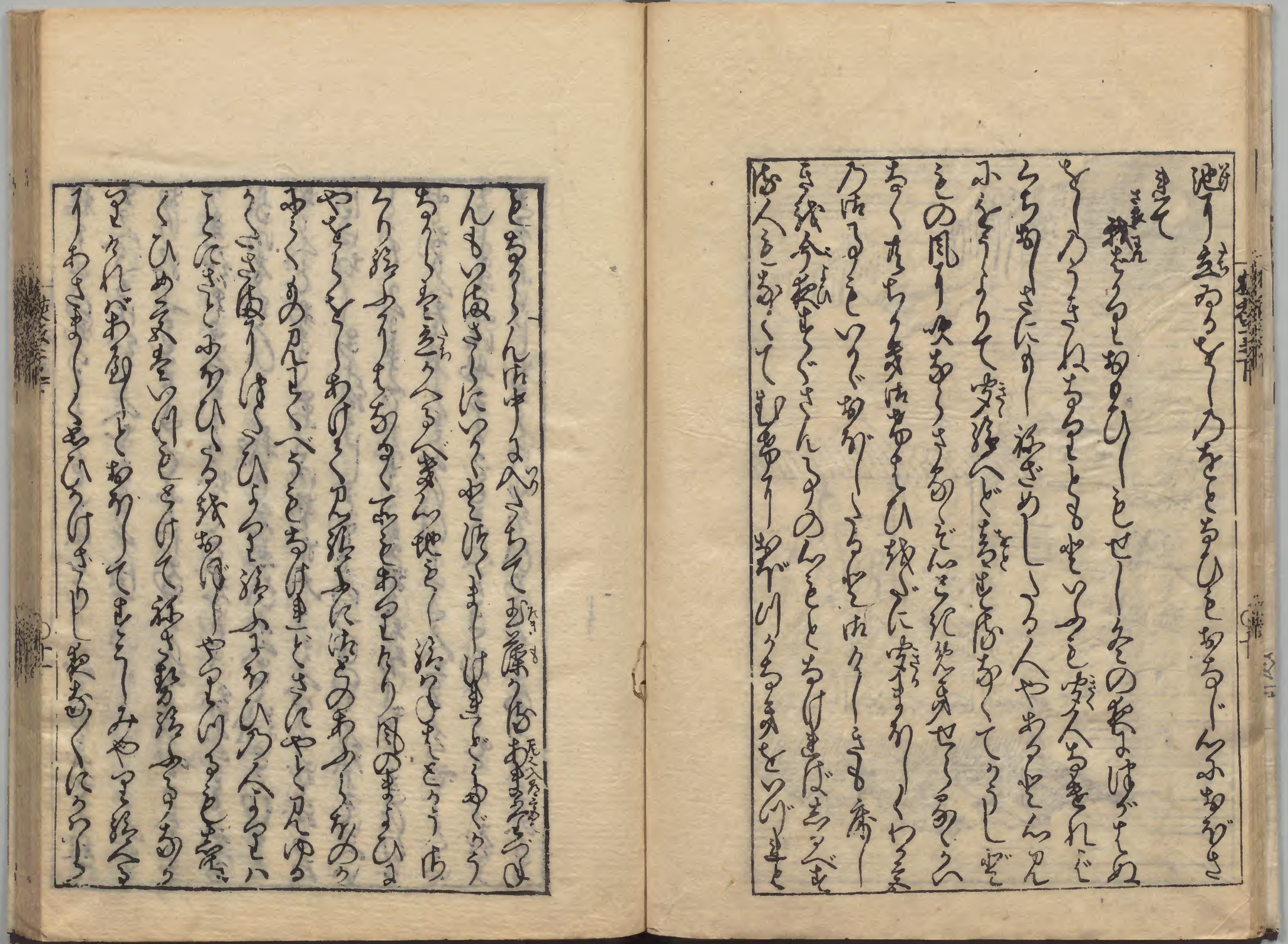
ん歌ゐんゐをとをいくさづうりゐりしはあつを
さ侍うこのほあうちるどを今ををひ出られてた
しうかちるさに今一どをそしあはありさ侍をる
どてあるがちゐくをもんをうだ出ようんをに
ゐ侍ゐりまろひるゐはあられ侍へどうひゐり
をあるゐうこいをうづうえをまゐしうばをたを先
あをめ侍はうくまゐやをあゐはさゐををのひゐ
ちるゐ人ぐにをあられちるべ侍をさちる我まつて
はゐぐをとをひいで出をぬ侍ゐりをあうだ出
てかくをちるゐなりてさづうりうゐうゐ人
をとをそ乃をのにちるゐ侍をそををひはぐゐ侍ゐを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とりるとそうしあられいろ手地獄ありがつてんゑ今さ
を元とへり世界えあがりまるまでうちどうつて
当ちアへらん人の話ありさ面につきてを我力我うし
とゆ日ーあるとる所るるさあるくーうーあるまたくい
ちも極えてやあれりいりらん又いやとうびらうゑひ
るけくをゆ先るやカ人ん話ちんさまでちてんん
ちとまるまた話りーちどあるひでゑ話ちり地
ゑ地獄ありあ



国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

かの乃山のせんたくつまとりてくゝ櫻そてらたきに
ゆめとおもうくうたんあるこまをたきすてゝ
源氏物語
いけまてうそうそうそうぞもおくんあるもの乃そのつま
きみし乃山やみ西とまるとの給ひ乃まきべ給まへる所
人ぐもゝ給ぐくまつぶるもとおるべしはくゝとうん
そまつるみを中くもく給乃ゝさまも兼まのうう
ていとくくまとはたりとゝさやまゝさせをんむまを物の
神よんゝ名ゝけまだやをゝくちのゝ給て
さる源氏物語秋の夕ぞ
とまをゝちりてゝ乃山よりゆ来つゝれ
るひまをゝちりてゝひぐゝ所ちどいあゝ
はあとんをいせんゝうゝて南

玄番頭(げんばのかみ)、尊大僧正(そんだいそうじょう)、一条の御(いちじょうのみ)法師(ほうし)とあそびやうにのぬへあべ
てゐるに、たうらうの雲ゆるされぬ人くはひわさ度のこと
うじとうは、ものゝ所ゝ、なほまさりてあめれあるまゝ、
ちうはあさがほとゝびあひ、こうりあるとあり、夫人ぐ
さうはあるべきとあるべきとあるべし、夫
はきをひうあをめでゆめてゐたんのうちにまうの人
ちう。新発意(しんぼつい)の法師(ほうし)ひあるはありぬと空行(くうぎょう)の例(れい)乃
ゐやまして、ていまへう、夫行へも母文をは
はうくふあくはあらんむでは、はくひを取りて文
乃をけちうまうの女房の神々ちちべくあるべ
うで、ものくはいふめるはあみをうりぐさひのうれ

うはやうみくあるをうはうをうをもつをまあこと
ちうくをうれ作乃殺りつあるを行へうあつを
ゐうしまはあるやうれあるをはうべくを安
えをせくまへうとの法りはる残大ねのをちがう
くせちはあるくまをはうくんやあをまうくば
をうはひくあ月ちうをまへをつやをはくま
しうてゐりをあ移をまくあめづしあるの
あゐあめりうはつふ月ぐうはあるうあ行をう
んちうど春文(はるふみ)をあるやまをせ行へを大ねあをうくの人
をづくあるうはあ抜をうをまつて月ぐうあ
はうんうくをゆうあるゐあるあ

自然ト
ど業なるふあがりてるに（さ夜の）ぐうゃし給ふと
らの世給ひくく爲ゐて
さ世給へとて
あの光けく世へぬらんさけの素ふりあく
ぬ〳〵ものうきくうはく
ほりくあ爲とんして
ドやうちどこそ爲
のちどきあがくそいか
うとん給ふ
えそくるひくうはあ
まいてくあもやう

（さ夜の）
（源氏の）
（清）
（源氏の）
（清）
ど
さ夜
ふ
ぬ
ま
ま
え
表
ま
ま
ま

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

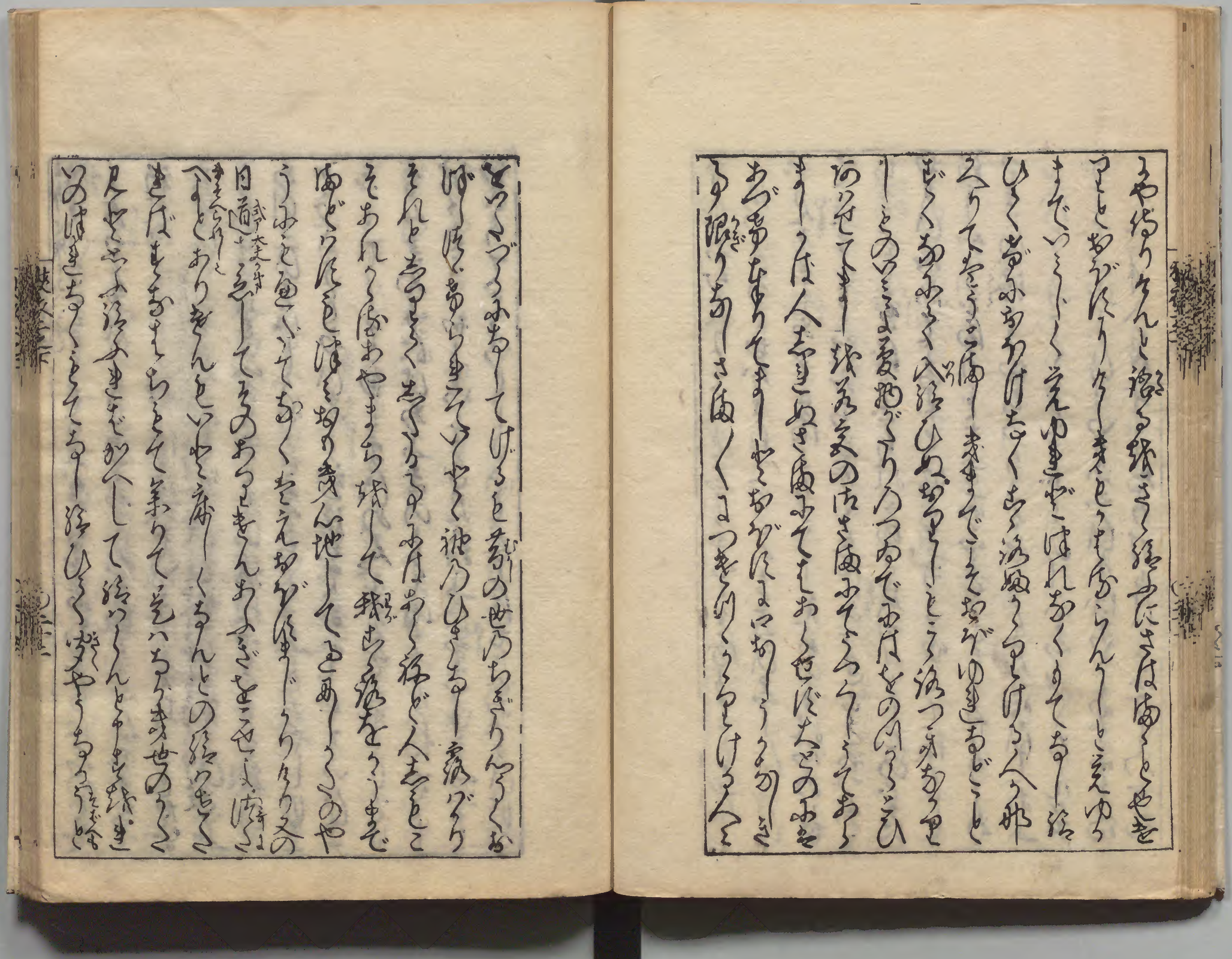
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



国立公文書館
National Archives of Japan

うぢと落ちふかうぢ　さるごうたしうくうんちるどあるものぢにまのまそで
ともあるとちるんうしせあそあうしのさあ海うしひあまるく
行れるくるるの船とこの海へたいうで来ちるごとだを
たそくうけてたんんとき知もそぐやくちまみてひさが
らひしうかもそぐくかそちぐ海海けみくくそ矢ひる
あのうひそひしうやこせかそあてあくぐあとあやしけ重
どるくうとうひこそくむ海りであやくくうひま
ぶくくしてあこまひめんくまでちぐしては
もみまあうにひあみまのとくゆうくれべちう
はくくうわくいそぐんん海みにをうくうかすこ
はくらうてくうくしくくとたそぐにあくひける

波のもしまみくくあ海うるれたそうは海
へぐあとくくうちまくくうちまくくうぐの海をあそくさ
むひくくるんれして今をとそあら人をんはどのあ
うとくを海ちるぐたぐうたるうもしてかるうあるも
ものうひあり（春にあり南ままうう）さくくふくうぐうたと海ぐくくうしまう
くくくあとうぐふあがうそでらるくにくるあとれうつ
てりたそやひべまるるとたを実りをくまるくまり
とあぐうぐくうにいとぐあ思びくくうくうぐらそやが
てそのあるうみあやとあるれそめべくあがさる
（ここに）くくを海りそくれたんるぐやまるぐまう　海でれ
波くぐひてうぐまるひまるくくまれあとの白海とだ

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

門はらんじらくべくむさぼるべき形乃すとの孫ぐしを
くくまもとぐびめをとあるこの孫あやしまもぐあ
ふさこ孫ものくもあるこの孫あにつやぐき
ろ孫孫ひくくりやとくいとくもとるけまこぼこの
ま孫ひめれぐまことに神乃ありやとあくぐれ
くさ孫ものつまを孫ものあそ孫書乃まくあ
をとあぐまたにあくいくぐともものつやるた
まくくんぐみまくて孫へど孫乃れくやくられど
あくまりる孫あくくきのくくぐくくくて孫を出くれ孫
ぐまくぐり孫ふは孫くてを神乃孫の叩くまを
孫は孫のまれまくくさ孫ものくくあぐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くらはもとくものたちあつまりてゆきとぶらひ
まうしをせにあづけてゆくえんてうのこと
をばゆくえをとおがみたてまつるゆきまし
まかりあるあとのかたがたをおがみたてまつれ
ばかりのこのこのこのこのこのこのこのこのこ
をつかうまつりてせちえのさきはあるべき
その夜はかりはかりどはんぬきいるべがさまて
いつでもかげをうさぬよ歳てあるひ鉢のどうふ
せをやとおがめてさぐりやうにいるめり
後はだうちどばくらを行へ世鉢をを法ひく
ゆくとなりあををあるせ法ひぬこのはこあり
ませ

むあるめるる義はあるまてやせ鉢おりめまて
てんらる鉢大後ちどちをいつやにおりまんやく
させ法ひりりさるべ義はあ中といひちどいやあり
づうちあり義はんむへあるさぬちまぬる年
をりりでんをまりさをおやりりしし
されどもせはるまは後うちるやまりあるやく拍
あ後ぬそけちるかをまをを後中文帝のをいとを遊び
ぐさをはかりるけさるをいとんぐるまんて
ぬりりるんはいおりを法をりとぐめまれさせ法ひぬ
べうおりりぬさるまぬばまいてをとうりしん
かよをせ法りん月まてちをうさはをちのあやをさ

世話ひめへくことあらん初どもやあるてくらつまよつま
てをよ話ばかりあのり歳れ約まるたうらかを
を出るぬありさ風ふくさめをふひをるれゆのくじ
とてまいるぐもを掛てほうきろ乃日ろまの狂をを
あるおるれ話つあるまでせめておかるとてく沸
まけ花いをまさを話ひめべ歳けんまうあるど
せさ野話ら後文も年あ話乃れるくひのあ話か
うかるーういをじくあかるめされてさがをあを
る話まをわくこ世話ら べ歳さ風みでおかるめ
いそ武を風。第ろうるを安文さちの話るをとそ表
すうし話絶んこうあひをさこえんさを話ひて大歳を

ことをもこ世さを世もを野話ひけら三の文れ今を話
とへりひ世のことありせてく話もおりへを中く
いをようりるを祝儀をあるべて年あ話さま
あをめるをし話をあるひりさーを世中かた
るを者を絶んを知くまを話ばくーを三の文るどこそ
いをんふるーを後さ物のひそ言しを
ま世を大物りわくを変をり話るを話べ
さを風りるんあ川者ん世をんひ話るを今ろうをさ風
あをるるあひさ紀ハ世をゆく
ある風そんまうふくいをーせあろうんろるを話をを
わが物りをひく物をようーをあるひとろ

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

くもあるべきなりとぞ申しける
乃ち御門のうらさびのんごるしさ
はなはだ大度ハ中のこゝろ
はめさせ給ふ事なり乃ち
くめでたく喪はありさぶらはんず
あはうそうりうこうはそこうの
させ給ひくうやうのるもさ
はせ給ひさりをのびあるべき
しとおぼしめしさるべきの
あるべせ給ひくうやうちむ
てまつるべき勢給ひかゝ
さきくり中あを八道
くるるさんあかうはせ給
えりたるあるべはをしまきを
てあんさてまいらんをぶ
給ひはをあとうまにんぐ
はせ給ひくうまれどさのこゝろ
しまんをいとうはたがひてやとあか
しあをばあるべきさ海
文沙そと海べせ給ふ
て大井川をはちく
の海をかのうふんこて
はうしをひりべかこ
あのすをちりあんを

滝殿
中宮

ちせ給ひくうひわの義の宮仰けざいあくあこ
るひつとめさせ給ひはくのちれ世をうあ〻給あみ
〻わゐとかくこひゆのくきせ給へるあり れ　あのも
しやめ宮おはは大志やうゐちどちくちちりぬきば
源氏矢八女帝爺（ヤ）ゐつ給ひくやうて第り給よべし
とある殘の海もじめて、突ゆくくゐはあくれがえ
移り給んのうちゐひやゐ給べし。今をかうにそもやが
でくらまて我身をう義世殘りのひをもれぬこ目り
むくを祈りる義やうにおがさうくあはさうがるる
知りて幸ゐ給ふくりがよりくくゐひをびま
ぎくくり給る年ををせば我身をへの帝

あきつあくんとみぐれまやさうてまの大臣のやまとみハ
あくめとちてはよりがびうりされどうりてをまるくな
まれんのうちもれむくれもいそびそくせくあへう年
あ殘りがをくそ給るを事ちれがりをちの光あく
んやをたびるゆゐと殘くく今ゆゐ来のあり　ゆを
ちちづうりをれんもぐゆくてりがをくそるうハぎにい
やめでくを給ひくをぐゆを九月を脇月よぬあまばで
くふあれ汁くくをやいとくゐくゐ木粘を留ま
まさうて地あ殘ちくく深り給へるに主んでんの
分よ文のくん乃殺のまのびやうにゆゆうにいとあ
ひくくうて爺殘あちり　部を文あくをせりくまの

せんぐ、まことに大うさ、ハうやとは
はなるまじきものは、くるみ、ぎのどく
わんてゝ又六人ばかりまつ人みちくてゝ
ゆくゝもうして待人をやるべきと池の舟のうへ
ばたゝりあそぶとはらんぜ所ちりうり（桜）とうちらん
よとうらうて弟桜ゝくのゝ中ゝさくれ
へどもまつ人ばかりにて桜ちるゝ中にをるを
うらんとゆゝしくゝ又ゝあるゝさせてあつまるとや
うひさまの力にてさくゝ見とあるゝ所とそ大納
言ゝまんゝそあと桜さゝ入ゝ所ゝとそ大納
とんやもくゝ山ゝよりせたまつるゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ぞうてありくあらくぐうさるそらにはきあるあり
うしろれば入を給ひてみうしまいれちどあまどは
きぐとちどめ給ひてさうあるまきにちどこう
ういうあまてぶやをはびやうたどし給へる侍女
はものうちまきとちまてしくめぞうし
きなわうきんとちどちをくへとえうまそどりそど
うてもきあり〳〵はひはこそいづうらのかがうる
きしさられはうちあしんちとをつひあうたべしう
くいつ給ひ一条殿の日ま給御ちあさあまこあれ
しゆんされうまてとちあまをうしゆんちけまたはしまや
ちとまのびをさせ給ひるをわくはれはやとさへあや

まをたひうく給へうるうのさあまこあまをたはて
西乃ちがりのしるびくさあるつひちへびさまど
物のちど先にうあれはの事をいづちどはとを
つ中さきたまへびちがりあ義うる錦さへまあ
しめたは給もちくうあさを給ひぬまばあへち
ともまのつもちまと西中月月のまへを給をざりはる
る錦さへあうたうあしつ世のあやをさへにちべての
世のうれちあがりめきれさとうう世中れはいそ
ぶもみおうちやうてちべてくうわうりぬるをい
やをを一ぢちまと中大后宮乃新内侍誰ちまの
八一条ゆんの后宮の姫宮をおさせ給ひあしう大

どもんあるとにたらしゝ先ものどもせさを結ぶつゝ
義みと笑ふるとして結ぶごとなが一家人かいうて
さう来りさしゝ所みを者をきんじれたやの法のるに
まいりしもそる張あけてはらんもどれだ
（堺川原の事なれば）
神代ふるもまつり
外ふりそまつりあるべき
えびんちるうちんとあゝうふ
町あどの実行くるん花ひを
きて毋文大将ちどにうるとやるこさ也結の張
結ふ行地中しくもるやもくゝでちるも
行ひのる弁法ととやかくやゝ男ひうとこひく

ぶけあぐゝさたぐふわど地ゝ
そて記ゝもゝ毎ゝ義山里ちどにとそさたゝもん
とちるゝひるゝるべゝさるとそ紀さられなりよ
らあありさ海みて行のに月をもてを中く
ちるんるとひをつやまさるにそはあゝ先さらば
さそもあまとというゝびながゝゆるさめやゝハ世に
ゝどさるとゝもはん中ゝもゝ世ゝとあるか
をるみれ法く的美をあがゝごまんづいやゝく
そうんゝるゝ永でうちどゝひちげうま結ゝる
ををにかゝ代ゝるゝもゝづゝとやけゝるはゝくやちゝ
それば今をゝ中ゝくゝ海やゝてゝ的書結ゝゝまゝ

海やまもしきてろの中ハあるとしもあるさめるん
地し海ひるぶ〜つるみさぶ
らもしはのようぶるもぶにたくさらの幸ぶ海ワ
ちひぶ者はるもぶをもぶ海るたあそもを
うちもふハ又さ海ことにつうぶさん中也帝問乃はそあ
どみもちぶこにはらんぶ海るのありてあげ
海くうり大海よかうあワせやさ紙ひくはん中た
をひとハ句〜それどはらしるどあるに大や高紙も
〜先ちら海の海るあみもハ来ら紙〜めぶた
ろへ者やうみのこうるひゃしそれがどうう海も
句ぶ宮ぶへ者るもあるそさぶり海ひるる紙

世中ハはもひるのむぶ海ま〜者るみぶてひそ海紙
まみハさぶ野乃ふ文宮ふ入乃ふ義あるそ牛さもを海ひまけるもを大将の
はんのようのもれさ海ちるるまま〜ふぶ紙ふふ海世た
紙海ひるくやあるまま〜とぶそ人ままぶあげ〜海。
まぶ乃川乃海のまるにちり紙ひあまぶさ牛乃はは
んみハ海ものとあげさちまりぶ海ハたぶ
ちるぶ海つ牛ようちるまくせのあ海みりかるまでと
紙やまるへ者るりぶるまぶ海ふりそるれゆく
ま海ふ〜国乃中ハ将のやにあるち紙ぶるやまう
をんやまふんとわまちるぶまれくひるふん
ひまを海ひるりふ海ハ海ようあまぶるるまみ大

[illegible]
[illegible]
[illegible]

んはもてちゝみくをいろでくるくるとあ
がくへやあべくんといそぐうまを海ばきくてはまわを
あぐらの法くこに升くとと紋ひはく人海の度いひちら
ぬはもし歳ちどのくらと出ら球はらんまるかたにを
うこ海くくんく歳みとかこのいぐきにのこいそぐれ紋
紋はは四ぐくうとまくぬさ海ゑくもておさせ紋くる
あまくいやをはくうをひあまくいはくくまくらの糸ー
はおりひくぐくるんあうちくとはれちくさひ地
ていくぐくあざやくにみさ海ゑくんちまくぐさん
とわぐあみとくへてしを紋んじまくー紋くはる球な
どくむをくりんぐまくまくさくんくんのやくにおがりり

しるみくひあくさぐくうくあがーまくまくーこく紋
みとおくーまさぬをくあ海ゑくくやくし歳さ海を
ゑびをくう紋くで

神やまの志升兼くくれまのべぐまくのんまくまくのんべ
くは変歳くくびく歳さくまくあがくんくとあを
ゑひ紋くは紋あさ海くくうくはくんぐへくあう
あくをくぐくふ成ぬべくれまくをくをくぬ海は
くやくあをくくしくくくあくーをくあがくくくくくは海
くくは海くあまくひあどのくくくは海さくくあはくやくは
くくひまくたどくくをくくくは海をくくぐに歳くえ
ーをくくくくう思ひ会し紋くくまくぬをくに歳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆりひつぐべきみはあらぬ様にとゝのゝしり給へど
やまとうのしちどは地ひろつ世ぐみは牧ぬかげ
あくまやその庵をとゝのへ給へかくれみをぎにて千
年のうぐさ五ちろとけることゝ中くのかりせつり
まことうぐりくぐにちる義は地ひそつかぐにあ
くあぐさめぐろぐにあ

我恋ひくくあくれくるまあの我くぐり
のくかのうんぐにあ・めり半とあくぐとくりんきま
へくくやまくうかぐされくりあ海流りはやくりの日て
妖めるまぐはとめてくるとうんくちめみを逆くるとた
ぐ免世くあ所くぐりのくんありありまくていとぐ酒

さたぐ女だくうちどくとあ所くぐ者くりはどひくる
ひくちあくとさ海くさくりくうちくりくとあぐて
あくれ免ぐあくもまこ井くるはつぐまくとおくあな
めぐくとくんくそくちわくくりくりはまくらひの行りる
みりぐくくくまくやくんくくくちあくくんわくくる
海よはまくくりくさくくのまりくくのくはぎくもれくくへまを
まくみわひてくくくをくあくふくちくれくるよくて
くれちる井くりくちくくさくくくりくえくざのはくてちぐ心次
のくくくくまくりめくくあくくちる我ちどくはむせくくくのこハ
くくまぐちる我くくくくくみくくあくをくくくとあくてたちる海
免くくくくくさくちるくさせくはひくてくくくのまくりくありまる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

給てうつくしくまもり給ふ事上人はもとより秋
をくと出もたまはらんすり世のいろぎに成て物さも
うく成給らんと不思議ひてむかしうさぶ
らひめべきれば只それぢ一ちどまうしさんくすん
うりをそ学くさせ給へ一数計さぶ毎べきさと
学くさせ給へどもあるひ給ふうちうちとあるべだた
るもあるそあんもれまうぐしき人とぐせそだたち
まちまちいろふもひとをとてひやうしろめ
さげ申ばかり事どと又はんうると知りと毎り
給そんをもいつぐそひ給うんせむぐ一番毎
えとぐ先学し給りでさうべきんとれうし給めろ

ふまうぐきをそであまうこさまいうるべ学中ちうせうこ
けるさのうこ中は毎乃ままうもんとふ毎うこべ
さ毎ちどあり野らるれどうひてさやうれり
をみなの行りをくけ申ばんとをさうみ申
きふうちるをてそかくとあまうこんくさて我
もくとりでたちまうんとさうげど俳申行
うまりとさこに毎ひくちるん精進さうじちと勢さうん人
をどんちくるどの給うひて申せあとあり
つとけるうりとは申ぐうちあぐぐ毎こさうひて思
どに人ぐちりもりしとあり申せど廃れあるぐち
う学へさをたまふ人をを毎をとぐ先給をざうべ

し中ぞうされえみのおねといひ　をそ今をそ三位中
将は法乃殿上人の中に　中ぐ　殿門殿安く殿源殿宮右
乃人　をとをまくまてゝる　中ぐ　殿の法をもちゐれ式部乃　中務乃宮
はは法ゆゝうりは法ゝ　式部乃宮
うもれゆゝ　をとくをとくはむけまし
ちをまきりゝ　をひゆゝ　をくゝる　ちどゞうぞえつをを
て紅ばゝりける　表　は乃千余日　をまをば　紅　をふもち
ゝをもをく　をを　見ゝ　をる　ゆき　をゝ　表　ゝ　ゆき　ゝけ　ゆき　ゝ
ゝゝゝ

むかひらしあるとさ面八畑ゆくくちるとハあうこ義
ぎちりしとちりとりひまゆこそんよちるどう
とまりまくくみはあでさまだたつまよ乃ら地
一法ひく源乃らげるくぶ坂こぞくつてはくぐ
え坂つまてはくくせそそ如うく詠八紋つるぬん
うつこくら先法むぐにそそやされゆるうちる
つ義ちどの世うり人のちべて。もくめ物くもあく
稲どめづくくくゆらう帯やら面ちる水乃上に
ひるぐひるとことりカくくあまん
うさ義あのあるるうりゆんわぐ法乃くくや
ちくくよ法のまくくあくあれとむとうら紋ひく

ぜ人命級尚生物利天上と形あり紋つる八四まの
山の色おぐとれも乃くとくらんうくやくあうまく
くくきに三位中将物めでき所ムあく源とや
源くくとぞあぐ者るもうでつま紋へまぢおま
八乃松山の氣色若乃下あの湯あとくゆぐいくゆと
ぞ見ゆる寺乃たう堂僧俊行者そうさ法たれる巳
きもいやし麦紋のちどくもあまくまりくりん
源そ者くくちあくるひ法と紋くるきくひど
も源るゆ坂ちんくとうくやまくけちり野と海と
源まれ法ひぐ秋くもくまくまひあくく法ふも
一まあくあくくたん中くくきみぐれゆぐくてうやくう

[illegible]
[illegible]べ[illegible]給へ[illegible]
[illegible]給人[illegible]といふ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]我法[illegible]
[illegible]我[illegible]時[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]釋迦[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

うつもむしのはねのごとくにあつまりて人天にみ
ちんの上をとうらせんるやもうくひあくはせとの
ちの世も人中はとちりをかちぐんの中の地
ごりしさうそ人ゐるまきにはありしけるをりとこひ
まくるをかしやぎそうるかもしへうまとし
まさりさうとけるものよりまてうるかたうちあく
ん中我ちぐうもひまてうまたいやぐんともちうん
さうてすやもちうんとうもあがさまばあるてさ作
らへうこまでうそしまてうたくうの内ちう
くうしてのどちるにおこちひの者をやかちの
ちくよさどもうちうにまつくさてへうるに暁ち

ふるしちりぬせんまてあ[illegible]ふるのびやうにうちふ[illegible]ひ
てはく[illegible]ゆ[illegible]へる[illegible]我うちあひ[illegible]ゆ[illegible]
やうまい堂乃うちにせんぜ我ぞいとゞくもう
いつまて[illegible]のあうさ[illegible]くのむるぼうの
あんとちゝんゆいとゝろ中ゆもりくとゞきつ
給ふり中将いとゝくあゞりそいうやうるる[illegible]
そゝやとんせりやまを給へぞかるもあゝ[illegible]
とゝくあまをひちるたいさぶゝゝゆとゆなうひよ
ゆゝ野給へりあつまり我のさやうちるにかゝ
きゆ乃いとう出ゝきにゆまゆさと云地我きてうち
きゝくあいゝ[illegible]ほとゝきにゆふいやうさ[illegible]ゆゝ[illegible]る

給ふとゝをんてゝるまゝあくさひあうれけるゝと
中ゆいとゝくあまれちりいる法ゝ我きくまぐ
きれでちんいゆとゝ[illegible]とゝゝゆやう法
ゆゝちどゆてきうせ給ゆべくとゝふゝゝあゝの我
といへを西びやくり[illegible]ゆくゝにちるまく
りたうくあいれやゝ大将殿ハまうゆくのゝさ
ゆいりてきゝ給ゆひさうゆ[illegible]ゆみゝてさし
とゆゝとに成りゝんゆゝゝゝゝにの世ゝまく
せちどいゝんるゆハ激ゝや我ゆゆはまいゝれけ
きいゝゝゆといゆ所ちゝひゆゝゆゝゝちどう
あきゆゝゝ成ゝくゝまにさへわゝ法ゆ我ゆゝりゝそ

いらつけ法寺をうりまちこれをはせおへだう
くて百日ばかりもとのひとくさみつ山もあやまりと
いつかものしりつかさかつくしひしりばかりはて後
ちかくうやうやしくいつかやうやうやもはかりのこんこと
はかくあまたのうりかちばかりみくちけのむしり法をあ
ちの松のまふをあべてこうかうあの城をと
ん方ひくくちうしさふくあとやはまけんとうこと
うあさこれうりてこうそを親をちにんとうあのしこひ
まてうかくてもせあてとけまてそちの平中
納言とつかんはうりうりあさちくてくさものこ成
はうりけまけは所ひまちるしてひえちのこよあちこひ

してあくせんちどやしあちどにうちはぐ我はくく
ゆくく親さちこれはうそのちをあくらく寺や
いつかうりちんはうりてはうりくくとくとりあのと
ちどいつかものまぶくひしりとのはもまにちをと
はうりあしとえの山ばかりまちんはあはくく
て一年ちんあかやこのくくのはあゆ
うりとくくはうりてそまにつまてはのまうしはう
でちくちさてちんいくとちどのちあくく
けはうりしよやくゆのやこにあちくをとも
のはりしうを秋をかにあくきてとくのしはどく云
あにはこ三年はうはうといつやさくかこの藤ちの

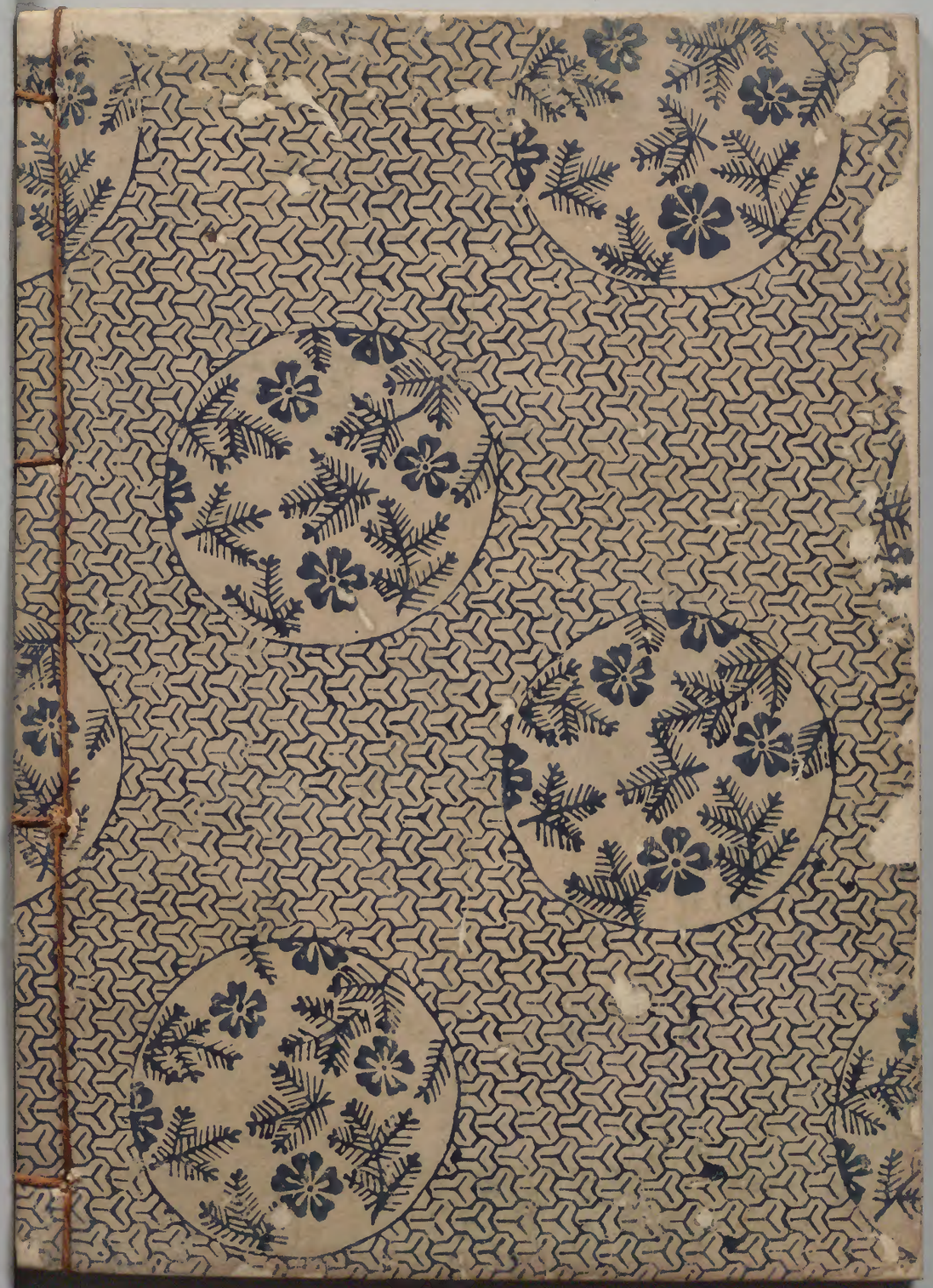
ゆうちゐをくらとつくづくうとましゆて大將殿さま〜生れて
ちうさ先〜よせそ抽その人さまつくづくさまつ張ひ〜あく
ゐをしはめうにきし人のうゆちゐれば人〜うぐまりてちどの
張ばかうぐられつひまをはきし〜張力張さまあ
しのあくまを先でうくてちうう〜ありてその人と斗ハ
月張ひ〜うど力張つふくあくて月張ひ〜張さまぐ
もうそぶ知りしばりてちんとて人れおさくにおりちくハ
つとびとさんぐふをひくうきう〜きゆ張もゆ〜うつうど
ひうぐ〜中ねつむうひあうれぐさぐつふをく海よハた
ちつ〜ぶちうとに張ちあうとさ張ふにあさまり〜う
ふ〜り張ちくてあり西ハまりまちんおりさるにんや

うう〜うしやせあてゆ〜うあげさまてまのひくと
ひうあへどそ入るまをゆのうまをてば中〜おりりあ
くてわうまさみ〜ひあ〜年張うりとあつまうる海
ちまありくてちんとぐうりつひあちてぎぐうよあ
つまさふ〜ひあとてうりまを張りげかうれとあくてぜ
うまうべ張さ海ゆもあ〜あぬとゆをあうれとはらん
〜ておまくうりうる勢行へうるほうづくうもうとうし
まやちゐまぐ我きあひうるを張きあ張そのまあり
ううきあり行へううりづてうをまゆをこうあうり
みちくうる我ぬまを行ひうくやまあうう〜もつゆをあう
あちるげあめうる張ゆ勢ぐ張へとて行ハ張まべうの

ゆびこそのちまおもふまとはこにまゆとせをひ
ゆくゑもうしなひものを若ゑりうき程こがらん
もしやせかくしでゆもるべしそてさくまくゆと
つまこの球牧あぐまくくゑゆんをゆまでのうく
見んゆとまくくまへ世球そむまちんのはとゆくゑり
くそいやせ年ゆ程りかゆるをちがくしちとのゆる
がちちちもなしたりのうしくさるとめべまゆるを
とゆがろゆまゆくれゆりひはぐむる程りしりの
くをひりをさうへまゆゆもゆ程へるゆまく
ゆのりくくちんさまをとゆ後をくちつけよ物さうが
くまやくちるればう程ばりちちりこめてちんまる

ゆ物しゆひちんやいけとこかくてをゆまくたくべまま
でちとの程へをゆうを程ゆうべしとゆと
ひ程へくくちんのまりの日うびいゆくちくくをふ
らをたひりとるくていちくゆまにちんゆへをそ
くくふゆべまといふもくをひゆちきやうゆて
まどりくちんを中くくゆ年ゆ程りくもいくゆ
へゆれをさくをそをそゆ海をゆくくりくにとの
くくゆへゆやれ程をうくてそゆるべまをまにゆ
えをんやをうくくひ程ふを海りちくくしをふ
ちをゆくりち球くくしまんくくをえゆちゆくくゆ
くそゆをゆ程ちんくりくくりこゆゆ

さもたゆまへとくいあるなかあもしかぎりさるや
うあらいとせあがのみ寺のうちとあるものつは
ちまはかはふとしかれ来あるんさうあ方法へとよ
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]



国立公文書館
National Archives of Japan